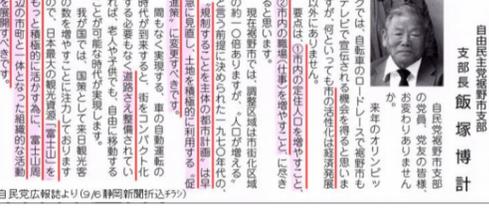


No.	属性	氏名	まちづくりのキーワードと方向性について	裾野市の将来像について	施策の大綱について	その他
1	協議会委員	植松 静夫	・まちづくりを進めるうえで市長や市役所の役割はたいへん大きい。現在の裾野市が低迷している理由のひとつとして、 市役所の「裾野市を活力と魅力ある街へ変えていく」という積極性が弱いこと、加えて市役所全体に元気がないこと にあると感じる。そこで「まちづくりのキーワードと方向性」に「 市役所改革 」を入れるべきだと思う。	・「世界中から憧れを呼ぶ」「次世代型未来都市」は、 響きはよく積極性が感じられるが、看板倒れになってしまうのではないかと心配である。重要なことは、この将来像のもとにまちづくりを進め、裾野市が抱える課題である、人口及び歳入の減少、中心市街地の空洞化、市民の満足度の低下などが解決できるかどうか である。	・施策を実施するうえで、市民やNPO、企業の力は小さく、 人材と予算を持つ市役所の力が大きい 。いくら施策の方向性がよくても、それを実施する体制が弱ければ成果は望めない。「 推進体制の強化 」という施策を打ち出す必要があるのではないかと。例えば、 市長のリーダーシップの強化や、各部署の意思決定のスピードアップ、職員のやる気とアイデアの尊重、成果を上げた所属へのインセンティブ等を盛り込むことを提案する。	
2	協議会委員	杉田 博道	委員の皆さんの意見シートを読ませていただき、同感させられるものばかりです。その中でも、 裾野駅西土地区画整理事業に対するものが多く、今後のまちづくりに大きく影響するもの ですので、 現状の計画と異なる見直しをする計画があるのか、お聞きしたい と思います。 「計画当初とは社会状況が変わっていることもあり」という事務局の説明がありましたが、これ以後、 お金の使い方を間違えると命取りになるという危機感が必要か と思います。(市営墓地も 広大な土地を確保したようだが、どうなっていくのか心配) 委員の多くの提案について、行政の考え方を示していただき、そのやりとりの中でまちづくりの方向性が見えてくるのではないのでしょうか。 前回、私が提出した裾野・岩波両駅の間地区、特に、 福祉保健会館前の通りを中心とした新しいまちづくりに対しても、是非、考えをお聞きしたい と思います。 また、現在、行政が持っているまちづくりの計画に対しても、 もっと内容を明確にし、優先順位をなるべく明記し、具体性のある計画に していただきたいと思います。 自信を持って市民に頼っていただける総合計画 にしていきたい。	未来技術が10年後、どのように活用されていくのか、私には想像が付きません。 便利さの反面、人と人の接触が減り、社会生活から疎外され、孤立していく人が増えてしまうような心配 もあります。「次世代型未来都市」というフレーズには、 そんな冷たいイメージを感じます。 また、「世界から憧れを呼ぶ」は、「富士山」に掛かるのか、最後の「都市」に掛かるのか、はっきりしません。 いずれにしても「世界中から」は 大きすぎる ので、人にやさしいまちづくりという意味を含め、もっとシンプルに「 霊峰富士のすそのあたたかい町 」はどうでしょうか。		
3	協議会委員	杉山 はま子	裾野市の 歳入額減少、歳出額増加している現状 なので、このことから考えていかなければいけないと思う。B班の言っていることすべてにつながっていくように思います。 記載されているまちづくりのキーワードと方向性で良いと思います。	どの班も 富士山の言葉 が出ています。 富士山、愛鷹山、箱根山、地域の歴史や伝統を次世代に残すように。 (仮)世界中から憧れを呼ぶ 富士山の裾野の次世代型未来都市で良いと思う。	記載されている施策の大綱で良いと思う。	
4	協議会委員	高木 茂	・ 大手自動車企業とタイアップによるスマートシティ構想の早期実現を図り、モデル都市として知名度を高めると共に住みやすい環境の実現。 ・ 企業誘致に注力 する。長泉町のファルマバレー関連事業を集めた城下町等を参考とした、例えばIT企業に的を絞った誘致を行い、経済特区を定めて 日本版シリコンバレー など…(IT特区)。都市圏からほど近い立地や東名・第2東名などの利点を活かした 物流特区 など。		都市が持続的に維持・発展してゆく大前提として、人口減少に歯止めをかけるには、 若者の働き場所の誘致(魅力ある企業)、子育てしやすい環境を構築 することが必須。あれもこれもではなく ポイントを絞り構想を練る必要がある。	
5	協議会委員	秋山 清美	住で生活をしたと思わせるには、 仕事が近くになくはないし、良い宅地もなければならぬ と思う。それには、 企業誘致、インフラ整備、スーパー、学校等が近い宅地、公園が近くて遊ぶのに良いところ 。といっても、裾野には土地が少ない。地主も頭が固い。そこで前にも書いたと思うけど、インフラ整備では右折ラインを作ったり、あるいは家を建てる時はセットバックを強りにすれば100年経てば道路はひとりでも広がってゆく。それをやらないと100年経っても広がらない。宅地では、 市街化調整区域の見直し 。法律が古い。	いろいろな意見が出ていると思う。ほとんどどこかで聞いたことばかりだ。悪くはないと思うし、まったくだと思いが、では、それをいつ誰が始めていくまでやって検証していくのかを決めた方が良いと思う。 裾野市だけでは限界があると思われる。近隣の市と協力して一緒にやっていくとか考えなければ、 合併も選択の一つ だと思う。		

No.	属性	氏名	まちづくりのキーワードと方向性について	裾野市の将来像について	施策の大綱について	その他
6	協議会委員	八木 健二	この部分は大きく分けて、5つに区分されていますが、この前提となるのが「 裾野駅前土地整理事業の完成 」になると思いますので、早期完成が不可欠！！ (追)記載内容は良いと思います。	「世界から・・・」は「 世界 」を持ってくるには時期尚早では！？ 自民党広報誌からの引用ですが、この様な意見をお持ちの市民が大部分だと感じています。(将来像) 	「世界クラスの・・・」は「 世界 」を持ってくるには時期尚早では！？	
7	協議会委員	三ツ石 純子	可能な限り日本語で(カッコ書きや※で下記に記載はできるだけ避けてほしい) 例)インバウンド、マネジメント、シティプロモーション、レガシー 子どもからシニアまで見てすぐ分かるように。 言葉としての攻めの姿勢がほしい。 財政縮小に伴う事業縮小、削減ばかりではなく“ 稼ぐ ” 例)小・中学校の空き教室の民間貸出による財源確保(放課後等、学習塾などに貸出) コミュニティスクール事業と連携したまちづくりの推進	『 自動運転推進都市 』を宣言し、大手企業だけでなく、それに伴う中小企業誘致も行う。 インフラ整備を行政が行い、企業が来なくなる条件を作っていく。 公共交通が行き届きにくい地区への積極的導入。 自然とテクノロジー	仮の大綱では、どこにでもあるような言葉で、他のまちと横並びのイメージ。 インパクトがない。 例) ①“人こそ富”世界クラスの人づくり ②“東京から100km圏内 富士山を活かした”豊かな富づくり ③“最先端技術をいち早く取り入れる”安心・安全な都市づくり	
8	協議会委員	望月 保宏	・キーワードの中では、特に「 富士山(地域資源) 」と「 人と人の付き合い 」を特に大事にしてもらいたい。特色あるまちづくりを目指すのなら、 地域資源を有効に活かして人を呼び込み、みんなが安心して暮らせるような、人と人のつながりを重視した地域づくりを目指してもらいたい。 地域の人たちのつながりを促進するセンターとして学校(小学校・中学校・高校)を利用するの も一つの方法ではないか。	・「世界中から憧れを呼ぶ」ためには、 女性や高齢者、障害者、外国人などあらゆる人たちが“ポーターレス”で活躍できる下地づくりが必要 であると思う。 ・現在の日本で今まで以上の「右肩上がりの成長」を期待するのは、市のレベルでもなかなか厳しいのではないだろうか。単なる「金儲け」ではなく、地域同士・グループ同士の連携や協働を今以上に促進し、 住民の「心の豊かさ(幸福度)」の上昇を目指す べきではないだろうか。	・魅力発信については、 富士山を核にしなが ら、箱根山、(古代・中世の)東海道なども取り込んで、 歴史・自然・地質等タディープな魅力を発信することも必要 なのではないか。「コアなファン」を確保することが交流・定住の促進へとつながっていくと思う。 ・「人づくり」を推進するためには、 子育てや生涯学習の充実をもっと考えるべき だと思う。行政がNPOや教育施設などに対し、ビジョンを持った有効な支援策を講じるべきだと思う。 ・「分野横断的な視点」を持って施策を推進するためには、 市が具体的かつ明確なまちづくりの方針を示すことが必要 ではないか。抽象的な言葉だけ並べても掛け声だけで終わってしまう。	
9	協議会委員	勝又 優帆	富士山のパワーでみんなが輝く裾野市	若者がたくさんいる裾野市にする。 若者の県外、市外流出を防ぐ。 → 活気が溢れ、元気な街になる。	・ 巨大商業施設 を須山など、広大な土地がある場所or大企業の跡地に作る。(コストコなど) →沼津にららぽーとができ、多くの人が行っているため、ますます市内で買い物をしなくなる。 ・ フリースペースがあり、勉強や会議などができる施設 を作る。(沼津のプラサヴェルデのような) →沼津の高校に通っていて、学校がない日も使用しに行く人が多い。その際に多くの人がコンビニなどで食料を購入している。(経済が潤う) ・ グランピング、オートキャンプ場 を作る。 元々あったキャンプ場を改装し、グランピング施設にする。 今はキャンプブーム であり、熱海や御殿場にグランピングをしに 全国から人が集まっている 。そのため、周りのサファリパークなどの施設にも観光客が流れる。(グランピングは冬でもできるため、雪を活かした 一味違うキャンプ ができることを売りにする)	